

えがお大東っ子

第58号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧くださいませ。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranooosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

大東市小中学生弁論大会 「心をことばに～伝えたい気持ち～」

令和3年11月12日、サーティホールにて第16回大東市小中学生弁論大会を開催しました。今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、代表者の保護者など限られた参観者の中での実施となりました。これまでの大会と同様、「弁論の部」では小学生966名、中学生2,637名の予選応募者の中から選ばれた10名の小中学生が、将来の夢や家族や友だちとの関わり、社会の出来事の中で心に感じたことなどを熱く語りました。「1分間スピーチの部」では、各小学校の5年生から1名、計12名の代表者それぞれが自分の学校の特徴や自慢できることを元気に紹介しました。

また、昨年度から実施した各小学校の4年生から1名、計12名の代表者による「作文展示の部」については、11月13日から21日まで大東市立市民会館1階にて展示しました。

◎「弁論の部」本選出場者は次の皆さんです。(敬称略)



【小学校6年生】

尾田大輔、比嘉大輔、中井紗也花、
岩田明菜、中川小雪



【中学生】

鈴木心花、尾崎海斗、山中愛梨、
住谷和奏、眞鍋拓未

◎「1分間スピーチの部」出場者は次の皆さんです。(敬称略)

【小学校5年生】

日高陽葵、柳生夏里、大場悠香、木村愛来、横田美空、
渡邊美羽、神田葵、黒田彩心、本田凜、鶴田壮真、
麻尾陽菜、橋本健太郎

◎「作文展示の部」出場者は次の皆さんです。(敬称略)

【小学校4年生】

松尾勇希、武田悠希、藪真莉香、高木いろは、大谷萌恵、
小林尚真、曾我部優姫、野間田璃央、藤本柚希、
藤澤悠月、筒井ひなた、高野倅助



さすが、各校の代表者！！
素晴らしい作文ばかりでした！！

大東市内の各学校園の取組み紹介のコーナー



諸福中学校

ともに学びともに生きる

本校には、校内のいろいろな場所に点字ブロックや手すりが設置されています。これはかつて全盲の生徒を迎え入れた際に整えられたもので、現在もこれらを利用しながら障がい者理解学習に取り組んでいます。

1年生では、アイマスクを使って「見えない」ということを体験しました。先導して指示を出してくれる仲間に加えて、手すりや点字ブロックがいかに不安を減らしてくれるかを学びました。また車椅子バスケットボールにもチャレンジし、思い通りに体を動かせないなかでも協力し合うことの大切さを学んでいます。



1年生 車椅子バスケットボール



2年生 手話コーラス

2年生では、大東市の手話サークルの方々を講師にお迎えして手話について学んでいます。自分たちでつくった手話にアドバイスをいただきながら、櫛祭（文化祭）では手話コーラスを披露しました。

互いに違いを認め合いながら、すべての生徒が成長することのできる学校をめざします。



諸福小学校

毎日いろいろな先生の授業を受けています

諸福小学校は現在、児童数が717人で市内最大の小学校です。5、6年生は4クラスずつで、教科担任制で授業をしています。

国語は担任、算数は担任と少人数指導の先生が授業をします。英語、理科、音楽は専科の先生がいて、他の教科は、たとえば体育は1組担任、社会は2組担任、図工は3組担任、家庭は4組担任と教科ごとに先生が変わります。

教科担任制だと、同じ先生の授業を受けたことで、他のクラスの仲間と成果を発表し合う取組みができた教科もあります。

子どもたちは、毎日担任の先生以外の授業を受ける機会が増え、いろいろな先生と関わりを持つことによって、教科の内容はもちろんですが、社会性も含めて成長していくことができると思います。



体育担当教員の授業



英語専科教員の授業

諸福幼稚園

「笑顔あふれる楽しい幼稚園」

地域の皆様や保護者の皆様に支えられ、「豊かな心とたくましい体をもつこども」の育成をめざし、今年度50周年を迎えることができました。

今年度は、「きいてはなして Lets Thinking！」とテーマを設定し、話をしっかり聞いたり思いを伝えたりし、考える力を育むことに重点を置いて取り組んでいます。



行事などの取組みの中で、「どんなこと、がんばってみたい？」と一人ひとりが頑張りたいことや目標を決めます。活動後に振り返りを行い、それぞれが自分の成長を実感できるようにレッツ！トライカードを作成しています。「ちょっと、ドキドキ」「やったー！うれしい」等、子どもたちはその時々自分の気持ちを絵カードと言葉で伝えてくれます。その中で友だちの気持ちにも気付けるようになってきています。

スモールステップで達成感や満足感を味わい、それが安心感や自己肯定感にも繋がっています。また運動の基礎的な力が育つように、毎日のチャレンジタイムに取り組み、体を動かすことの楽しさが味わえるようにしています。今後も一人ひとりが安心して活動し、笑顔があふれる楽しい幼稚園であり続けたいと思います。



灰塚小学校

ICTに力を入れています



カラー写真でつづる
灰小ICT教育 ↓



昨年度末より、文部科学省が推進する『GIGA スクール構想』により「一人一台タブレット」が導入されました。子どもたちが日常のあらゆる場面でICTに触れ、学ぶ楽しさや意義を覚え、未来社会を生き抜く力を育むことが目的です。

本校においても、「①子どもたちにとってICT機器を使うことが当たり前になること」「②通信ネットワークの世界に慣れること」「③教師のICTスキルを上げること」という3つのことに力を入れています。一部ですが、実践例を紹介します。

- ①朝顔の観察日記（生活）、宿題を動画提出（音楽）、ダンス動画で練習と発表（体育）
- ②リモートで児童集会を実施、外国（カナダ）とリモート交流授業を実施
- ③職員会議等のペーパーレス化、研修等アンケートの積極的なWeb化

『GIGA スクール構想』の最終的な目的は、課題解決のために新しい価値を生み出せる人材の育成です。今後は、子どもたちの発想を大切にしながら、創造性豊かな実践を子どもたちとともに作り上げていきたいと思っています。

